

❖ 平成25年度 区東部医療圏地域医療講演会 ❖

平成25年度(11月以降)の区東部医療圏地域医療講演会を下記の日程で開催いたします。
(開始時間は、いずれも午後7時30分からで事前申込は不要です。直接、会場へお越しください)

日時/場所	演題	講師	主催医師会
11月13日(水) 墨東病院 14階講堂	緊急・救急のCT・MRI	墨東病院 診療放射線科部長 松岡 勇二郎	墨田区医師会
1月8日(水) 墨東病院 14階講堂	虚血性心疾患 ～治療の現況と心不全の外科治療	墨東病院 胸部心臓血管外科部長 石川 進	江東区医師会
2月12日(水) 墨東病院 14階講堂	未定		江戸川区医師会
3月12日(水) 墨東病院 14階講堂	(仮) 小児のアナフィラキシー	賛育会病院 小児科管理医長 小松 充孝	墨田区医師会

平成25年度(第2回)城東地区歯科医師会連合会主催講演会は平成26年2月17日(月)に開催予定です

墨東病院人事異動

【採用】平成25年6月1日付

脳神経外科医員 田中健太郎 たなか けんたろう
救命救急センター医員 柴橋 慶多 しばはし けいた

【採用】平成25年7月1日付

胸部心臓血管外科医長 尾辻 瑞人 おつじ みずと

【採用】平成25年9月1日付

神経科医員 武田 真紀 たけだ まき

【兼務】平成25年7月1日付

小児科医師 山下 匠 やました たくみ
麻酔科医師 柴崎 朋 しばさき とも

【兼務】平成25年8月1日付

内科医師 石田 信也 いしだ しんや

【退職】平成25年5月31日付

脳神経外科医員 高見 浩数 たかみ ひろかず
救命救急センター医員 野崎 俊樹 のざき としき

【退職】平成25年6月30日付

皮膚科医長 大久保佳子 おおくぼ よしこ
胸部心臓血管外科医員 江花 弘基 えばな ひろき

【採用】平成25年10月1日付

小児科医員 田川 雅子 たがわ まさこ
整形外科医員 田崎 亮 たさき りょう
整形外科医員 日高 亮 ひだか りょう
整形外科医員 福田 直子 ふくだ なおこ
産婦人科医員 深澤 祐子 ふかざわ ゆうこ
救命救急センター医員 堀井 千彬 ほりい ちあき
救命救急センター医員 横山 太郎 よこやま たろう
総合診療科医員 阪本 直也 さかもと なおや

【異動】平成25年10月1日付

救命救急センター医員 竹田 悟宇 たけだ ごう

【兼務】平成25年10月1日付

外科医師 本田 五郎 ほんだ ごろう

【退職】平成25年6月30日付

産婦人科医員 劉 樺 りゅう かんば
整形外科医員 金沢 明秀 かなざわ あきひで
整形外科医員 柴山 一洋 しばやま かずひろ
小児科医員 三井 元子 みつい もとこ
救命救急センター医員 東 夏奈子 あずま かなこ
救命救急センター医員 山川 潤 やまかわ じゅん

放射線治療システム (リニアック装置) 更新に伴う、 放射線治療休止のお知らせ

現在、当院では放射線治療システム(リニアック装置)の更新工事に伴い、放射線治療業務を休止しております。更新後の治療再開は、平成26年4月を予定しております。*

なお、放射線治療業務休止期間中も経過観察等、放射線科外来診療は継続しておりますので、放射線治療関連の相談等には対応させていただきます。

地域の先生方にはご迷惑をおかけすることかと存じますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

*関係省庁(原子力規制庁、厚生労働省等)の許認可等により、日程が変更になる場合があります。

お問合せ 診療放射線科治療部門
03-3633-6151 (代表)
内線 2325

紹介予約のご案内

当院の受診は救急の場合を除き、紹介予約制を原則としています。

電話予約センター

TEL:03(3633)5511(直通)
受付時間 午前8:30～午後5:00

診療放射線科検査予約

MRI・CT検査 TEL:03(3633)6191(FAXと兼用)
RI検査・放射線治療 TEL:03(3633)6192(FAXと兼用)
受付時間 午前9:00～午後5:00

問い合わせ先

医事課「医療連携係」TEL:03(3633)6151(代表)内線2115
FAX:03(3633)7130

緊急の場合

緊急の場合は必ずご一報下さい

月～土 午前9時～午後5時

TEL:03(3633)6151(代)
当該診療科の救急当番医師

夜間、休日

TEL:03(3633)6151(代) ER担当

三次救急

TEL:03(3633)6151(代表)
救命救急センター



東京都立墨東病院

連携だより

発行 東京都立墨東病院 事務局医事課
〒130-8575 東京都墨田区江東橋4-23-15
TEL: 03-3633-6151(代表)
<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp>

VOL.46

医療連携で実現する、最高の医療圏をもとめて

「今日は、どうなさいました？」診療をはじめると、「墨東病院にいったら、紹介状がないと診察してもらえないといわれたので、紹介状を書いてください」とか、「墨東病院で診てもらえなかったので来ました」と無然としておられる患者さんが時々います。クリニックに入ってきた時から怒っている感じがして、受付職員が緊張する患者さんもいらっしゃることがあります。治療をして、経過をみて考えましようということで納得される患者さん、紹介状をもらえるまで納得しない患者さんいろいろです。そんな患者さんの中で、墨東病院を受診の必要のある患者さんは、結構少ないです。患者さんの立場からすれば、不安でそれが大きければ大きいほど大病院志向になり、その受診が、本来の墨東病院の機能を低下させることになるなど知る由もないと思います。



墨田区医師会長
市川 菊乃

さて、どうしましょう？と考えたとき、ふと、発災時のトリアージに似ているな、と思いました。発災時のトリアージ後、症例によって病院での治療でなく、前診療所での治療で完結し、避難することに納得を区民にお願いする、それを周知徹底すること。似ていませんか？

「賢い患者になる」どこかで聞いたことのあるフレーズですが、医療人側からいえば「賢い患者を育てる」ことが重要と考えられます。日々診療のなかで、私たち診療所は患者さんとの信頼関係の中で、自院で治療して済む状態、精査治療は墨東病院ですべきと考えられる状態を正確に判断し、きちんと理解してもらえる努力を日々しなければいけないのではないのでしょうか？もちろん転院させた場合は、情報共有をしっかりとし転医による不安を患者さんに感じさせないことが大切と考えられます。

前会長 鈴木洋よりこの6月から会長を引き継ぎました。公益法人化の後アップアップしているのが現状ですが、墨東病院との医療連携に関しては前会長同様、医師会にとって重要と考えています。賢い患者さんを育てるには、年3回の医療連携の会、年9回の勉強会を質の高いものにし、情報交換を密にしてより完成度の高いものにして、患者さんが治療のために隅田川をわたらずにすむくらいになるといいと思います。

防災、減災、防疫、など多岐にわたる業務を請け負っている墨東病院がより機能するように、江戸川区医師会、江東区医師会と努力協力していきたいと考えています。



● 上部消化管疾患担当

● 和田 郁雄

医師会の先生方におかれましては、平素より格別のご高配をいただきまして、誠にありがとうございます。昨年井上暁前外科部長が退職されましたため、東京大学医学部付属病院胃食道外科講師の職を辞し、墨東病院上部消化管外科部門のチーフとして本年4月1日付で着任いたしました。引き続き当院外科をお引き立て下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

これまで墨東病院外科は、救急病院としての使命を果たしながら、癌治療を中心とする専門性も確保していくという診療体制を敷いて参りました。その特徴を挙げてみます。

1 進行癌の患者さんが多い

症状がでるまで病院を受診されない患者さんが多い土地柄なのか、進行癌が多いことが特徴の一つです。胃癌では手術を受けられる患者さんの約8割が進行癌です。根治切除不能の患者さんもめずらしくありません。当科では最新のデータに基づいた治療を行っています。

2 併存疾患を持つ患者さんが多い

墨東病院は総合病院として内科など診療科が充実しており、救急疾患以外の領域でもほとんど全ての疾患に対する高度な診療を提供できる体制や設備を整えています。そのため、癌専門病院や小規模な病院では対応できない重度の併存症のある患者さんが多く受診されます。当科では他診療科と連携して、患者さんにとってベストの治療を提供できるよう努力しています。

3 救急の疾患が多い

墨東病院は救命救急センター設立後30年、東京ER墨東開設後10年を経過し、地域の救急診療の拠点となっております。そのため、出血や穿孔などの合併症を伴う癌の患者さんの比率が高いことも特徴です。当科では、救命救急センターやERと連携し、そのような患者さんの治療にも速やかに対応しています。

4 最新の治療の開発に貢献している

当科では新しい優れた治療法をいち早く取り入れ、質の高い診療レベルを維持することを目指しています。そのため、大学や臨床研究グループと連携して、先進医療の開発に参加しています。特に、胃癌領域では日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)参加施設として多くの多施設共同臨床試験に参加し、日本の胃癌の標準治療の確立に貢献しています。

5 活気ある研修指定病院である

墨東病院は都立病院の一つとして、東京医師アカデミーによる臨床研修制度に加盟しています。特に当院の臨床研修は全国でも屈指の人气で、初期研修の倍率は例年10-20倍の狭き門です。熱意あるスタッフや元氣なレジデントと共に日々頑張っています。

墨東病院外科では上部消化管(胃・食道・小腸)の主な疾患を以下の方針で治療しています。

● **胃癌**：原則的には日本胃癌学会の胃癌治療ガイドラインに従って標準治療を行っています。癌に対する根治性を追求しつつ、心臓疾患や肺疾患、重症の糖尿病など併存症をお持ちの患者さんでは、各患者さんの状態にあわせた最適な方法を工夫して良好な成績をあげています。術後のQOL(生活の質)も重視しており、早期胃癌であれば内視鏡治療(内視鏡的粘膜下層剥離術、ESD)、腹腔鏡下胃切除術も早くから導入してきました。一方、当院に多い高度進行胃癌の患者さんには、最新の術前化学療法や術後化学療法を拡大手術と組み合わせて、治癒を目指す治療を行っています。

● **食道癌**：胃癌同様、ガイドラインに基づいて丁寧な治療を行っています。標準的な手術治療としての開胸、開腹手術の他に、進行度に応じて化学療法や放射線療法を併用した治療を行っています。特に当院には癌が食道外膜に及んでいたり他臓器に浸潤している症例が多く集まり、術前化学(放射線)療法を行ってから食道切除術を行う積極的な治療を行っています。

● **胃潰瘍・十二指腸潰瘍**：多くの場合は薬物治療が中心で内科治療がなされています。外科治療が必要な場合として、内視鏡治療で出血が止まらない場合、慢性的な狭窄が改善しない場合、穿孔して腹膜炎となった場合などがあります。

● **GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor)**：リンパ節転移が希な本疾患は腹腔鏡下切除術のよい適応です。切除の必要のある症例では、原則として腹腔鏡下切除を行っています。大きくて安全な切除が困難な場合には術前に分子標的薬(イマチニブ)投与を行うこともあります。切除後の病理結果から再発リスクがあると判断される場合には術後補助療法も行っています。

墨東病院外科の成績は質・量共に大学病院やセンター病院に勝るとも劣らないものと自負しております。高齢者が増加して併存症を持つ治療の難しい患者さんが増える一方で、医療費は削減を余儀なくされるという、厳しい時代です。その中で、我々は「すべては患者さんのために」をモットーに、地域の医療機関との連携を密にして、先生方の期待に一層応えられる病院となりますよう、日々頑張る所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

当科にご紹介いただく方法

当院の外来診療は通常予約制となっております。ご紹介下さる際は、予約センターに電話をいただき、予約をお取り下さい。上部消化管疾患を担当する私の外来診察日は火曜日と木曜日です。お急ぎの場合は予約が無くとも受診いただいて構いません。また、緊急性がある場合には、救急部門(ER)にご紹介いただきますと、外科疾患の場合には当科で診察します。疾患を問わず24時間毎日対応いたします。



放射線科 核医学部門

墨東病院診療放射線科核医学検査室では、2台のガンマカメラ装置（体内から放出された放射線を検出し画像化する装置）により1か月に約100件の検査を行っています。

核医学検査は、RI（ラジオアイソトープ）で標識した「放射性医薬品」を投与し、目的とする臓器や組織に集まったところを、ガンマカメラ装置で体外から撮影します。放射性医薬品は、半減期（放射能の減衰する時間）の短いRIが用いられていますので、その被ばく線量は極微量です。

核医学検査は、静態検査、動態検査、SPECT検査（カメラが体の周りを回転しながら写す断層撮影法）を行っています。撮影された画像（シンチグラム）からは、体内臓器の位置・形状・サイズなどの情報が得られます。最も重要なのは他の臨床検査ではわからない臓器の血流と、機能（働き）について情報が得られることです。

墨東病院で行っている核医学検査は約30種類ほどありますが、骨シンチ、脳血流シンチ、心筋交感神経シンチの3検査で、全体の約80%を占めています。骨シンチは、悪性腫瘍の骨転移の検出目的に実施されることが多い検査です。脳血流シンチは、Tc-ECDを使用し、脳血流量と統計解析画像処

理（3D-SRT、eZIS）を行っています。虚血性脳血管障害、認知症（アルツハイマー病）、てんかん、治療前後の血流の比較などに有用な検査で



す。心筋交感神経（123I-MIBG）シンチは、パーキンソン病の評価に有用な検査であり近年検査数が増加しています。

核医学検査の結果は、画像を書き込んだCDと専門医による報告書をお渡しいたしますが、その作成に1週間ほど時間を頂いています。また、結果の引き渡しは、情報セキュリティ等の観点から来院していただき直接お渡ししています。

地域の先生方には、診断精度の向上のために、ぜひ当院の核医学検査をご活用いただきますようお願いいたします。

診療放射線科核医学部門 小林 剛



看護部 便り

墨東病院認定看護師による活動のご紹介

墨東病院の認定看護師は、区東部保健医療圏における看護の質の向上として、自施設での活動だけではなく地域のリソースナースとして活動していきたいと考えています。

貴施設へお伺いして学習会を開催したり、当院へお越しいただきラウンドの見学をしていただくなど、お役にたてればと思います。

墨東病院には下記の認定看護師がいます

- 感染管理
- 皮膚・排泄ケア
- 救急看護
- 集中ケア
- 新生児集中ケア
- がん性疼痛看護
- がん化学療法看護
- 緩和ケア

9月7日（土）には「認定看護師による“楽しく学んじょう”イベント」を開催し、褥瘡についての講義の他、エアマットや水分チェッカーを使って除圧ケアやスキンケアについて演習を行いました。

第2回目のイベントは感染防止について11月30日（土）に行います。インフルエンザ・ノロウイルス対策の講義や、吐物処理の演習など行う予定です。

後日、お知らせを郵送させていただきます。みなさまのご参加をお待ちしています。



9月7日（土）イベントの講義・演習の様子